

2021年 12月例会 薬王院とみかん狩りウオーク報告

開催日： 2021年12月1日(水)
集合場所： 桜川市真壁つくし湖駐車場
集合時間： 9時00分～9時15分
開会式： 9時15分～9時30分 終了後スタート
コース： つくし湖駐車場→薬王院 →椎尾山 →みかん園→つくし湖 (林道及び山道歩き)
ゴール時間： 11時40分
距離： 10km 団体歩行
参加者： 5名(会員5名)
天候： 曇りのち晴れ

〈ウオーキング状況〉

200mから800m級の低山が連なる筑波連山。その南西の一角に椎尾山(256m)があり、中腹には1200年の歴史を有する仏寺薬王院がある。山麓には温暖な筑波山の斜面(真壁町酒寄地区)を利用したみかん園が広がる。今回の例会は、ここを舞台に筑波山の紅葉を見ながら林道・山道を歩き、昼食はみかん園で楽しむというものだ。

ところが、明け方の悪天候が災いして、集合場所つくし湖に来られた参加者は5名のみ。天候は回復したものの、予定取りのコースを歩けるか不安を抱えたまま出発する。早速、薬王院参道の急な坂道に直面したが、30分後には何事もなく薬王院へ。重厚な仁王門をくぐり、急で頑丈な石段を登ると、由緒ある薬師堂・三重塔の建物、樹齢300～500年と測定されたスタジイ樹叢に迎えられる。見上げれば筑波山の紅葉が雨に濡れて色鮮やかだ。大雨直後だったが山道歩きは可能だったので、椎尾山まで足を伸ばす。展望は悪く、ベンチもない。あるのは頂上地点の3角点のみ。しかし椎尾山に登った証なので、ここで記念写真を撮った。更に登り続ければ薬王院ルートでの筑波山登山だが、次回のお楽しみとして林道に戻る。

関東ふれあいの道(茨城県10「筑波山頂巡りのみち」)と一部重複する林道を歩いて酒寄地区へ下ると、当たり一面、温州みかん畑。例年に比べみかん狩りが盛んで開園が早いのと、雨上がり直後で開園が難しい所が多く、唯一オープンしていたところで取り立てみかんの試食、購入(みかん狩りなし)。その後お土産で重くなったリュックを背負ってゴールのつくし湖に向かって歩き出す。勿論、紅葉真っ盛りの筑波山山麓の木々に感動をもらいながら、皆さん元気良く歩きました。

山道歩き、果物狩りを伴うウオーキングは、天候等に大きく影響されるので、どのように実施するか判断は難しい。今回の例会はそんなケースの一つだろう。何はともあれ、11/20の特別例会での御嶽山、雨引山(薬法寺、雨引観音)に続き、椎尾山(薬王院)の観光名所を取り入れた低山トレッキング(ハイキング)を実現出来たこと、雨上がりの青空と紅葉に染まる筑波山をバックにみかん畑を歩くことができたのは嬉しい。「中止が続く小田原ソーデーマーチを彷彿させるようだ」と会話が膨らむ。ウオーキングを通して、茨城の魅力再発見だ！

(戸田記)